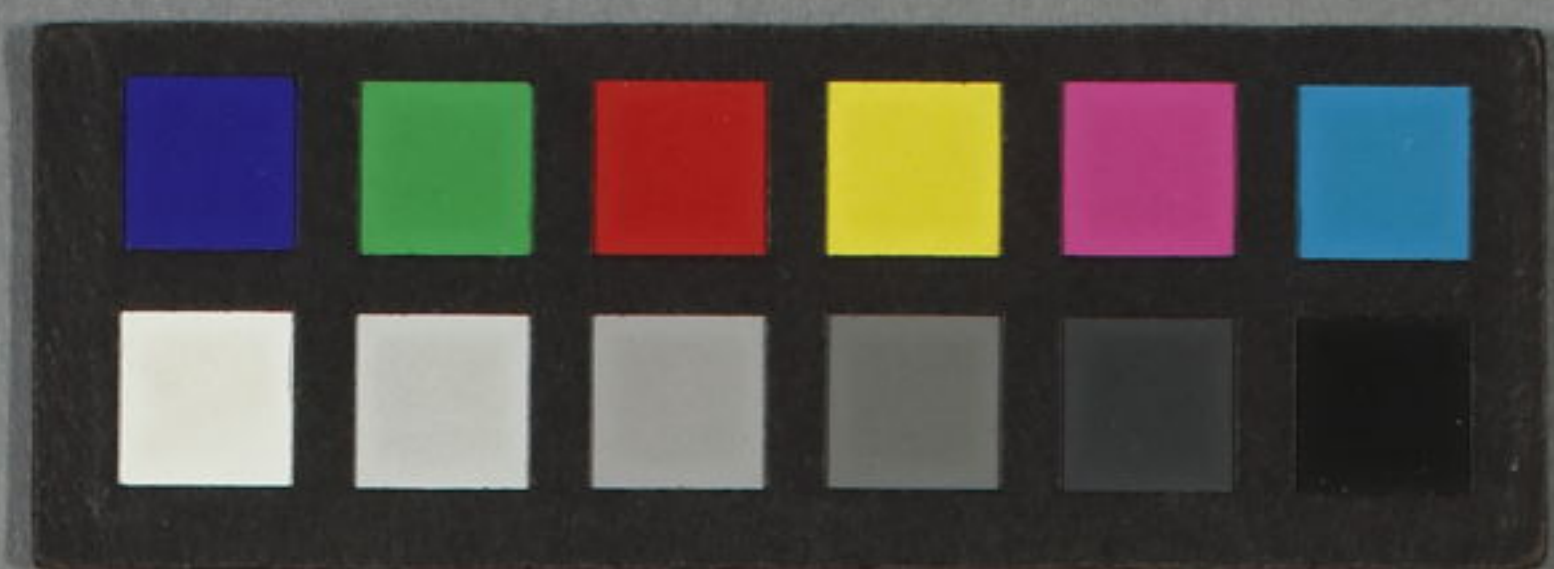


文化十九年
 煇六就之振輝
 大

中
 共心之記

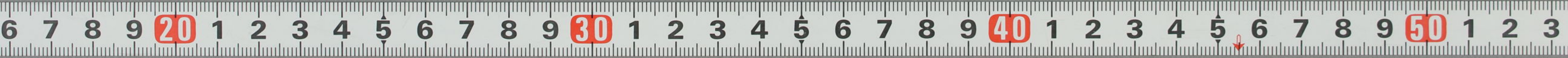
14
 2478
 207(2)





門イ 4
2478
卷 207(1)

曲士の杜撰 僅小絃文 蠻夸
 國字 老師 冤鬼 獼猴 漬
 茅簷 雪嶽 枯樹 存壽松
 仇ウ家 客店 亡月忌日 瘦狗
 支度 容姿絶麗 一羽を遠山の
 縁と画肌を芙蓉の露と疑はば花
 辰鳥音秋はくくくまると動心
 有繫 癖能の工 二白鹿 白鳥
 少選 二雀 計交 紫夾服 贓仗
 資科 鴉明 鳥夜 季圓金
 甲夜 偷見 提月 俟居
 唯 中夜 言也 道高
 欵待 早晚



善哉無分總來軀
 只因念怒釀殃危
 勸君堪忍須誠信
 短慮從來是禍基
 左側奉家身邊亡語



時 貌姑峯 燒香
 妖樣 夫妻 冰人 俄頃小

今弱 香 本浴 水中に焚
 門者 步欄 跌坐
 映也

昔は富良野の中少くも
 伊土の古士の銘小あつて
 けりしと握りて拵らぬが
 下下小一
 大わきと
 白

時ふき進ん年十月卯日
 是其いと飾突悲傷
 萬
 説ふ者の物
 待

出字、八尺八軀莫聽三寸舌
 舌上有龍泉殺人不見血
 松カ
 左叙名

荆棘沙不横アコハ足破輝
て血とろがーし漢界前小
アコハ卷石不障し魂とろ
アコハ

伊勢宗廟の進香しり

夏衣の裏脚 我気な
右も 障也 宗耀

古今集
みろしのこれあるこ家もな
身ろくし時わかれあふせん

響天妾 朝聖し 厄漏 者甚麼

獲執 魔也 瘰 四肢 鞆

羊庚相應 奔眉 申明亭

振 係嗣

一個蒲團一個鍋

荒年不怕賊來多

山前 野主三更夜 作ホ

狗一車 轉時便切羅

眉急 應神廟 壬午糸

蕭段玉小侍 走ていふふ

印 殿て 宜小體と彫 為退程人
計較 顧命 遣りな山

清楚貨食 拓牌 駢亦馬

有酒如線 遇射則見 楊大年 聯句
有餅如月 遇食則缺 丁公

酷暑 煥熱 益 益 益

分 億の 益 十二分の

千鈞 二馬 走程

圓金五十塊 益益

冷郎 益益 隔 翌 去 填 益

巴 濁 綴 錦 加 益 益 益 益 益

外套 裏 益

槐花 拾 葉

燭 半の 角の だらり たらり たらり

最 膾 炙 人口 房 裏 又 候

唐 詩 去 歲 南 梅 似 雪 今 年 刺

北 西 如 梅 櫻 花 下 月 光 如 畫 如 畫

俚 言 俗 趣 些 些 過 失 計 較

硬 骨 頑 口 無 言 報

多 才 偶 那 息 忍 益

舉 動 春 蠶 東 西 精 神 不 辨 叔 父

嘆 世 裔 相 嗣 鄙 益

うらるゝあはれいざし〜ふさねかへて
さうりもさうしれたるあをいづむけ

舞唱歌

あめいりまのほさめあはれ
すけいけのはまのあふあはれ
つねさあめとら〜とら

阿蘇の郎が月心利者いふを
分侍

渡月橋頭人渡月

月明邊在瀧波間

句行の江の河の流るる麻の巻のあはれ
に〜とらする人もありは〜とらする人もあり
菅云融流のとら橋の國明石の歌よ
よりのたぢひら多にのまやのれ〜とら
け〜とらとら〜とら
歌長莫驚時變改の榮五洛是春秋
附してはに唱〜とら詩〜とら書〜とら意〜とら書
全章歌長とら〜とら二句〜とら

うき山とあはれいづ〜とら
あはれいづ〜とら

蘇月和歌

山のとらとら〜とら
〜とら〜とら

恋心弄

かきとら〜とら
〜とら〜とら
後陽成天皇

あはれいづ〜とら
〜とら〜とら

かた人のあはれいづ〜とら
〜とら〜とら

あはれいづ〜とら
〜とら〜とら
あはれいづ〜とら
〜とら〜とら

夕々も乃新編に ち原あり
おのりしるるを
こしあふ ち原あり
辛きを
いふ身のあ の性なり
ていしるるを
すまうなるを
まう 拙れ
はしるるを
ち原あり

以賤交者賤盡ス交絶
以色交者華落ス愛渝

茶葉 只管 関

得位 心く契

何かなん

何かなん

行りしるるを

何かなん

破礼離 序の友の

秀身のあし 誠ふがらんれ

あやうきそのあやうき
いひしるるを
みかいらを

かみ くらん

かみ くらん

かみ くらん

ひん 年とめ

かみ くらん

かみ くらん

右より二

とすし押りな

甲の花れ 七巻

うらやま

い

かりあめ

うらやま

草花

伝句

おちりし

うらやま

ゆき

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うきやせ

年時無の

もやんのたる

万の^子由^はり

うきと無の

成る花の

様

はりきり

まやま首

うきよの草 法にれむやの

うきよの草 法にれむやの

能者

花に席

かきり

十女

うきよ

あひら

あひら

あひらのとふやうにのちとあひら

あひら

はら

あひら

あひら

あひら

杉ヶ林に

きそく 靱 形

きんごころ

そも中人の

かえりもころ

らるるの

あつる

ふりつところ

力 杖 形

口 法

きんごころ

きんごころ

附子の

きんごころ

白

紙よも

きんごころ

きんごころ

つと村の

甲子もころ

きんごころ

ねんご

きんごころ

ねんご

高尾山の

きんごころ

力 杖 形

部

きんごころ

きんごころ

能く

原のまじりし
流る

乃此

殿のゆく

事

備親願



